

～安全・安心な水道水をお届けするために～

災害に強くたくましい水道へ 水道施設の更新と耐震化を進めています

本市では「生駒市水道事業ビジョン」の基本目標である「安全・強靱・持続」の中でも「強靱」を重要目標に掲げています。今回は浄水施設や管路の耐震化について紹介します。

浄水施設の耐震化率を100%に



真弓浄水場

本市は山崎町と真弓の2か所に浄水場があります。真弓浄水場は、令和3年度から4年度にかけて浄水池の耐震補強工事を実施しています。山崎浄水場は耐震性能を満たしているため、この工事が完了すると、本市の浄水施設の耐震化率は100%になります。

また、主要な配水施設は、耐震性能を満たしており、現在、配水施設全体の耐震化率は87.6%です。今後は、耐震診断を受けていない配水池の診断を実施し、耐震化率の向上を目指します。

▷浄水池

浄水場で作った水や県営水道から購入した水を、配水池に送るまで一時的にためておく施設です。山崎浄水場で約3,500m³、真弓浄水場で約1,400m³の容量があります。

地震に強い水道管(耐震管)



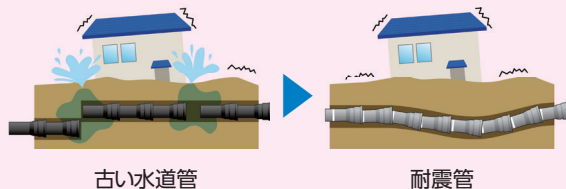
耐震管入れ替え工事

水道管の老朽化による漏水事故を予防するとともに、災害などの非常時にも水道水を届けられるよう、古い水道管を地震に強い水道管(耐震管)に入れ替える工事を進めています。その水道管は100年以上の耐久性が期待できます。

▷耐震管

古いタイプの水道管は、地震の揺れにより継手部分が抜け落ちることがあり、断水の原因の1つとなっています。それに対し「耐震管」と呼ばれる水道管は、地震の揺れに合わせ伸縮・屈曲するため、大地震が起きても管が抜け落ちない強い構造になっています。

耐震管に入れ替える工事を進めています ご理解ご協力をお願いします



古い水道管

耐震管